

ディスカバー農山漁村の宝
(第8回応募団体)

取組事例集

広島県



【お問い合わせ先】

中国四国農政局広島県拠点地方参事官室

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館6階
☎082-228-5840

中国四国農政局農村振興部農村計画課

〒700-8532 岡山県岡山市北区下石井1丁目4番1号
☎086-224-4511 (代表)

令和4年3月
中国四国農政局

発刊にあたって

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、内閣官房及び農林水産省が、「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るもので、今年度（令和3年度）で8回目となります。

中国四国農政局管内では171件の応募があり、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として7地区と2名が選定されました。

さらに、中国四国農政局では、応募のあった地区（者）の中から、他の地域の参考となるような優良な事例を、「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』」として13地区と2名を選定するとともに、今後の活躍が期待できる事例を、「奨励賞」として22地区を選定しました。

また、今年度応募のあった地区（者）の事例について、その地域での「農山漁村（むら）の宝」として広く情報発信するとともに、身近な地域の取組として紹介するため、各県別の事例集を作成しました。

各地域において参考にしていただき、農山漁村や農林漁業への関心を深めていただくきっかけになれば幸いです。

※「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の情報は、中国四国農政局のホームページ（下記URL）をご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kaseika/discover.html>



令和4年3月
中国四国農政局農村振興部

目 次

- 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」について …… 1
- 応募地区(者)一覧 ……………6
- 応募地区(者)位置図 ……………7
- 応募地区(者)の取組事例 ……………8

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」について

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信するものです。

1. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第8回選定）

今回の「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第8回選定）では、令和3年6月16日から8月31日までに、農山漁村活性化の取組として全国から651件（管内からは171件）の応募があり、令和3年11月19日に総理大臣官邸で開催された「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第8回選定）有識者懇談会において、団体部門（コミュニティ部門及びビジネス部門）で34地区と個人部門で4名が「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として選定されました。

中国四国農政局管内からは7地区と2名が選定され、その中から優秀賞の個人部に岡山県岡山市の「植田輝義」、優秀賞のコミュニティ部門に徳島県神山町の「神山しずくプロジェクト」、特別賞に広島県庄原市の「株式会社敷信村農吉」、徳島県阿南市の「黒川真太郎」、愛媛県伊方町「愛媛県立三崎高等学校『せんたんプロジェクト』」が選定されました。



「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」ロゴマーク

2. 中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」

中国四国農政局では、管内で応募のあった171件の中から、他地域の参考となるような優れた地域活性化の事例を「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』」として広く発信することとし、令和3年10月27日、中国四国農政局において選定委員会を開催し、13地区と2名を選定しました。

また、今後の活躍が期待できる事例を奨励賞として22地区を選定しました。



中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」
オリジナルロゴマーク

3. 管内選定地区（者）の概要

(1) 全国版選定（ディスカバー農山漁村（むら）の宝（第8回選定））

植田 輝義（岡山県岡山市） **優秀賞**

- 地元特産の黄ニラと岡山パクチー大使として、メディアや祭への参加により産地をPRするとともに、学校、福祉、企業とも連携。
- 岡山交通（株）とコラボし、「黄ニラタクシー」を誕生。タクシー乗務員への農業指導も実施。



2021年国和産業株式会社コラボ
パクチーゼリー完成

草間台エコミュージアム推進協議会（岡山県新見市）

- 草間台地の自然・産業・歴史文化等の宝物を発見し、それらを護るとともに発信し、地域振興に貢献。
- 地域を自然、産業、歴史文化等の宝物にあふれる「エコミュージアム」（屋根のない博物館）と捉え、里山の維持保全等を実施。



小学生の洞窟探検

株式会社敷信村農吉（広島県庄原市） **特別賞**

- 里山の自然を活かした保育所の運営を軸に、農産物やチーズの製造・販売等の地域密着型の事業を展開。
- 保育所では、園庭での野菜栽培、自社農園の農産物を使った給食の提供など、「身土不二」を教育。



地元生乳100%の手作りチーズは
国内外で高評価

株式会社63Dnet（山口県長門市）

- 地域食材を使った、コロナの状況でも強い商品づくりと幅広い販売チャンネルの確立により、地域事業者の収入確保に貢献。
- 農業生産者が6次産業化を行うために必要な施設や専門知識・ノウハウを補完し6次産業化を支援する「ながとラボ」を運営。



地元産マルシェ「LaLa フラン」

黒川 真太郎（徳島県阿南市） **特別賞**

- 農業・食品加工・販売の3本柱の小さな6次産業を実践するとともに、子育て環境の充実として学童保育を立ち上げ運営。
- 環境保全型農業での農産物づくりを実践。お米の消費拡大のため、パンや菓子等の食品加工、全国の消費者へのネット販売も実施。



毎月1回JRT(四国放送)ラジオで
活動等の情報発信

神山しづくプロジェクト（徳島県神山町） **優秀賞**

- 山林課題の啓発活動、町産材を活用した商品開発・販売など、地元産業振興により地域活性化に貢献。
- スギの弱点とされる赤白の木目を活かしたデザインの木製品を開発。地域おこし協力隊制度を活用した職人育成事業も実施。



スギにしか出来ない赤白の杓目が
美しい木製品

「高松盆栽の郷」推進協議会（香川県高松市）

- 国内外に向けた高松盆栽の情報発信と担い手の育成による JA 香川県「高松盆栽の郷」の発展に向けた取組。
- 4ヶ国語対応のウェブサイト等により国内外に高松盆栽の紹介・販売を実施。令和2年度はオンラインでのオークション等を実施。



高松盆栽オークション
盆栽紹介ライブ配信

愛媛県立三崎高等学校「せんたんプロジェクト」（愛媛県伊方町）

特別賞

- 高校生が主体となる地域の魅力開発及び発信により、伊方町の関係人口の増加と移住・定住者数の確保に貢献。
- 全校生徒をPR活動等、カフェ、商品開発、ツアー、アート、防災の6つのグループに分け探求活動を実施。



みさこう Café

吉延営農組合（高知県本山町）

- 地域の持続可能な営農体制づくりに加え、棚田散策ツアーの実施など地域活性化を目指した幅広い活動を実施。
- 集落一体となって防護柵の設置等の獣害対策を行っているほか、田んぼアートや棚田コンサート等の都市との交流事業も実施。



吉延集落の棚田

（2）地方版選定（中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」）

株式会社大山こむぎプロジェクト（鳥取県米子市）

- 鳥取県産の小麦「大山こむぎ」を生産し、地元を中心としたパン屋や飲食店をはじめ、学校給食にも供給。
- 生産者の顔（名前）の見える商品展開を行い、生産農家の生産意欲を向上。小麦生産量の増加に取り組む。
- 生産、製粉、流通と連携する鳥取県産小麦の地域商社。



創る会（利用者）と生産者の懇親会
～食べる会～

ふなおか共生の里づくり推進協議会（鳥取県八頭町）

- 次世代への取組として保育園や小学校の田植え体験を実施。
- 多面的機能支払制度の広域協定への参加により、地域の保全活動に取り組む。
- 集落と協議会で実行委員会をつくり、交流体験農園や農泊の受け入れを行う。



交流体験で梅ぼりを教える

有限会社旭養鶏舎（島根県大田市）

- えごま玉子の生産と、自社工場で加工品（25 アイテム）の製造を行う。
- 大学や病院と連携し、えごま玉子を食べることの効果について検証。
- ITとオートメーション化、6次産業化を積極的に進め、社員の半数近くが女性。女性役員・管理職の登用も積極的に行っている。
- 耕作放棄地を活用し、退職者や高齢者によるエゴマ栽培を行う。



えごま玉子

株式会社西粟倉・森の学校（岡山県西粟倉村）

- 木材加工品づくりの製造工程で出てくる端材を、DIY ユーザーに一点モノ端材としてお値打ち価格で販売。
- 人口約 1,400 人の村に 620 人も来客するような、モノづくり体験や端材の購入ができるイベントを開催（令和3年春に2日間開催）。



販売する端材製品のイメージ

万古溪養魚観光株式会社（広島県廿日市市）

- 川と海の養殖業者が卵から成魚まで一貫生産し、1年目の種苗から海面飼育した大型種苗により成魚の早期出荷と大型化を実現。
- 養殖場に釣堀を設置。釣った魚をその場で楽しめる食事処を併設。
- 市内の短期大学と連携し、「誰でも気軽に食べられるニジマスレシピ」を考案。魚食普及に取り組む。



子供から大人まで楽しめる釣堀施設

FAM' Sキッチンいわくに（山口県岩国市）

- 直売所における独自の集出荷システムを用い、岩国地域全域から出荷しやすい体制を整備。
- 店舗まで生産物を持ち込めない生産者のため、巡回トラック2台により毎日集荷。
- 陳列エリアを生産者に割り当て、自ら創意工夫した販売を展開。
- 売り切れなかった商品を生産者に提供。



遠隔地の産物を集約する巡回トラック

梅川 仁樹（山口県岩国市）

- わさびの超促成栽培について検証し、収益性の高い栽培技術を確立。
- 県農業士協会のリーダーとして、新規就農者等の支援に取り組む。
- 人・農地プラン等の話し合いに積極的に参加し、地域住民と課題や問題解決の共有を図る。
- 地元小学生に神楽を伝承し、伝統文化（向峠神楽）の継承に務める。



山口県農業士協会による研修

吉田 ますみ（徳島県美馬市）

- 耕作放棄地となっている茶畑再生と、集落のブランディングプロジェクトに取り組む。
- 未来の子供たちへ世界農業遺産に選ばれた農耕システムの継承と新しい農文化を生み出すふるさと協働事業に取り組む。
- 緑茶に関わる人々を増やし、その魅力や活動で感じたものを発信。



地元穴吹高校生との茶染め体験

（株）フードハブ・プロジェクト（徳島県神山町）

- 「育てる、つくる、食べる、つなぐ」という小さな食の循環システムを通し、地域で栽培した農産物を使った食堂・パン屋・食品店を運営。地元の食材で加工品を開発。
- 新規就農者の受入や、子供の農業生産、加工、販売等の体験を実施。
- 地元の農業高校と連携し、環境保全型農業を軸とした、農業生産、加工、販売などのカリキュラムを構築。



地域のみんなでつくる加工品の開発・製造

大野豆プロジェクト（香川県高松市）

- 休耕田を活用して夏は大豆・黒豆・小豆、冬は空豆（一寸及び「大野豆」）を栽培し、年間合計約 1.5 t を販売。
- 地元児童・生徒による豆栽培、豆腐・しょうゆづくり体験を実施。
- 地元産の豆類を使った「豆 de 家庭料理コンテスト」を実施。



大野小 5 年生児童の「大野豆」
収穫作業

みとよのみプロジェクト（香川県三豊市）

- 三豊市と地元生産者が連携して市内の魅力的な農産物の 6 次産業化や地域産品の開発に取り組み、地域農水産物のブランド化を推進。
- 生産者と商品を掲載した HP の制作や SNS 等により情報発信を行う。
- 展示会、商談会への参加やフェアを開催。



みとよのみプロジェクトで開発
された商品

チームそら豆（香川県小豆島町）

- そら豆醤油の原料となる国産の乾燥ソラマメがなかったため、農商が連携して原料を生産。
- 需要の増加に伴い、地域の特産品としての製造を維持していくために、原料の生産拡大を行う。
- 良いものを生産するためにほ場巡回や講習会を行うとともに、生産者と収穫物の全量買い取りの契約を結ぶ。



アレルギーフリーのそら豆醤油

愛媛県立川之石高等学校 GAP チーム（愛媛県八幡浜市）

- グローバル GAP 認証を取得した柑橘を使って、世界マーマレード大会へ出品。
- 柑橘や柑橘加工品の輸出、GAP 認証取得、GAP 学習会、販路学習などを地元企業 3 社と連携して実施。
- 被災柑橘農家応援のため、地元や東京で復興マルシェイベントに参加。
- 大学や農業大学の職員を講師に招き、柑橘園付近の鳥獣害対策について学習すると共に生物調査を実施。



柑橘 11 品目でグローバルGAP
認証取得

愛媛県立八幡浜高等学校商業研究部 A★KIND（愛媛県八幡浜市）

- 八幡浜市に水揚げされる「未利用魚」の活用を考案。
- 魚食の普及活動として、未利用魚を使った学校給食のメニューの考案や、クリアファイルで魚食マップを作成して配布。
- 未利用魚の定食提供ツアーの実施や、地元日曜市等のイベントでの販売活動を実施。



小学生との給食交流会



高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部（高知県高知市）

- 高校生が鳥獣被害という課題解決に向けてジビエ活用商品を開発。
- 高知県産の赤牛や規格外野菜を使用したジビエ商品を考案し、高校生ジビエ・レストランを出店して提供。
- 販売利益をシカなどの食害を受けた森林保護活動に寄付するとともに、植樹活動にも参加。

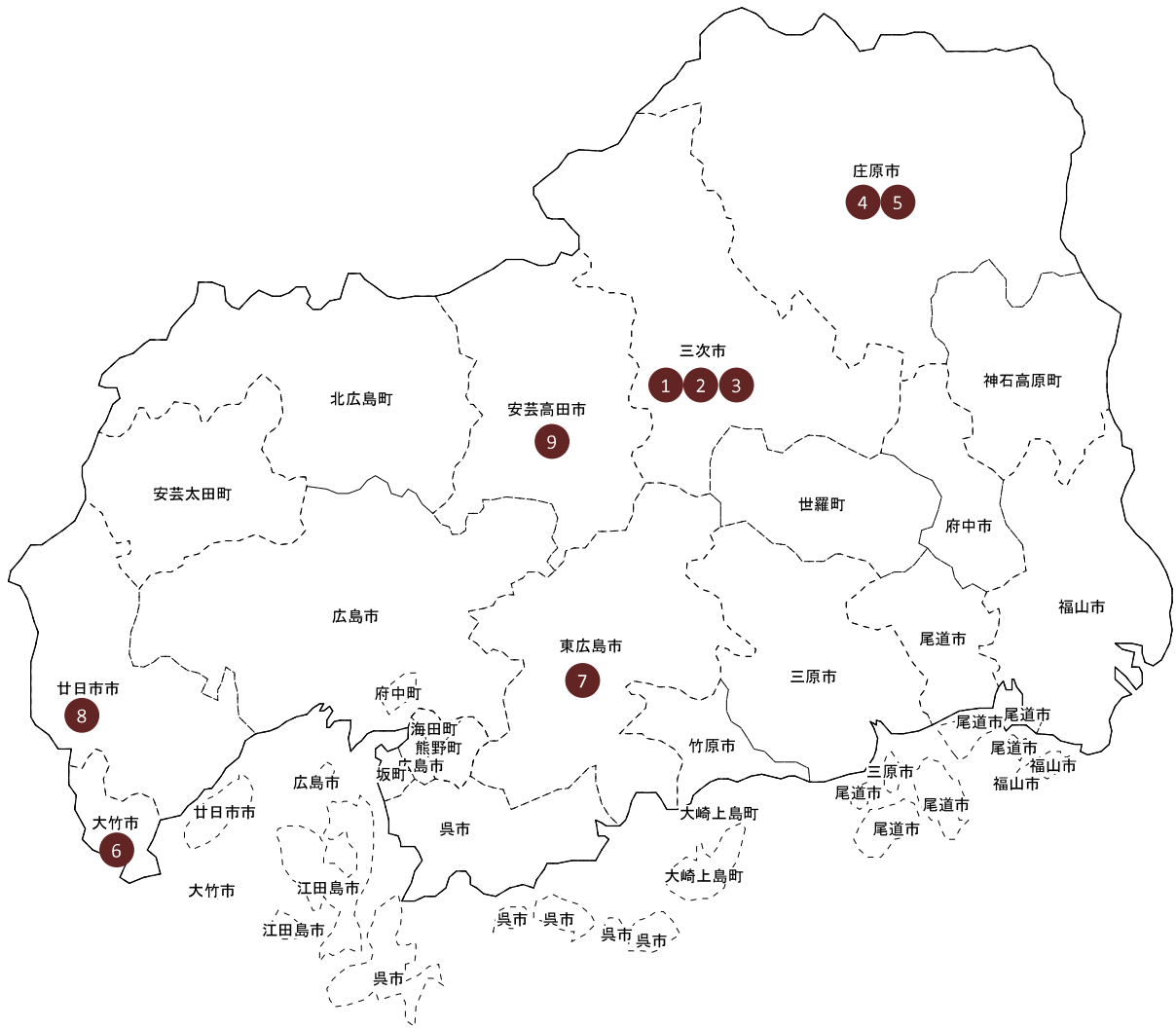


高校生ジビエ・レストラン出店

「ディスカバー農山漁村(むらの宝)」(第8回選定) 応募地区(者) 一覧 (広島県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取り組み		
①		ビジネス	三次市	株式会社福田農場	6次産業化	雇用	教育機関との連携
②		コミュニティ	三次市	川西自治連合会	企業との連携	農村文化体験	—
③	奨励賞	ビジネス	三次市	農事組合法人 高幡	雇用	女性の活躍	若者の就労意欲向上支援
④		ビジネス	庄原市	株式会社敷信村農吉	地産地消	雇用	食育・教育
⑤		個人	庄原市	富 由香(よもぎカフェ)	地産地消	食育・教育	女性の活躍
⑥	奨励賞	コミュニティ	大竹市	おおたけ手すき和紙保存会	伝統の継承	—	—
⑦	奨励賞	コミュニティ	東広島市	菜の花くらぶ	6次産業化	高齢者の活躍	学生・若者の活躍
⑧		ビジネス	廿日市市	万古溪養魚観光株式会社	農林漁業	雇用	教育機関との連携
⑨	奨励賞	ビジネス	安芸高田市	広島県立吉田高等学校 アグリビジネス科	6次産業化	—	—

応募地区（者）位置図（広島県）



1

みよし
広島県三次市

6次産業化

雇用

教育機関
との連携

かぶしがいしやふくだのうじょう

株式会社福田農場

～「地域と共に」農業を希望と期待の産業に～



JICA中米女性の訪問研修



2011年開店した米粉パン製造販売の“米豊霧”

経緯

- 平成17年から西組営農組合(36戸)では、高齢化、担い手不足による農用地の有効活用と荒廃による集落環境の悪化防止を重要課題として議論。
- 農業政策の変化に対応し、消費者ニーズを捉えた決断と実行の経営責任を伴う集落型経営として株式会社を設立。

取組内容

- 西組集落農地(36ha)を含め、他地域からの集積にも対応した農地の有効活用。
- 市民農園の設置や収穫感謝祭を実施し、園児、小学生の農業体験や消費者との交流。
- 集落と共同で、農業資源を活用した味噌・餅等の加工販売、平成23年度からは、米粉パン製造販売。

活動の効果

- 「地域と共に」を経営理念に掲げ、地域の人との良好な絆を最も重要とし、
 - ・地域住民の優先雇用
 - ・集落農家の自家用伝統食品(味噌等)づくり
 - ・農業機械の共同利用による投資抑制支援
 など、農業経営を通じて集落住民の豊かさ、地域振興に貢献。
- 従業員の就労満足が生産性改善・向上につながると考え、就業規則を定め、社会保険加入、退職金制度に加入。

応募団体からのアピール・メッセージ

「地域と共に」を経営理念に、地域の営農組合と連携し多彩な6次産業との複合経営による農業の魅力創造・発信して、地域の魅力づくりに取り組んでいきたい。

三次市和知町2682-2 Tel: 0824-65-2765

川西自治連合会

～住民自治で田舎暮らしが楽しいまちづくり～



県内から広く集まった参加者



地域内で支え合い運営する「支え合い交通」

経緯

- 地域の住民は、人口減少とともに地域内産業は衰退し金融や商店等も撤退し、将来への不安や危機感を感じていた。
- 地域に誇りを持ち安心して暮らし続けるため、自らビジョン策定委員会を立ち上げ、地域の将来像を描くことを最重要課題として取り組むこととした。

取組内容

- 地域内に点在する「堂さん」を資源に川西よりみちライド&ウォークで地域の魅力を発信。
- 交通弱者が増えていく中、2018年12月から「支え合い交通」の実証実験を(株)マツダと実施。
- デジタルを活用し、昨年度から川西アプリを用いた双方向の情報発信。

活動の効果

- NPO法人とタイアップしたライド&ウォークイベントは、県内各地から参加応募があり、好評。住民との温かい交流が生まれる関係人口イベントへ。
- 住民で支え合う「支え合い交通」は、中山間地で暮らし続けられることへの安心感を醸成。
- 従来の紙媒体での情報発信も継続しつつ、一人暮らしの家庭でもタブレットを用いた双方向の情報伝達が行えるようになり、遠隔で健康教室を開催することができた。

応募団体からのアピール・メッセージ

住民同士が支え合う移動手段、当たり前になりアプリが使える新しい生活様式など、ビジョンに沿った取り組みで田舎暮らしが楽しいと感じるまちづくりに取り組んでいきたい。

3

みよし
広島県三次市

雇用

女性の活躍

若者の就労
意欲向上支援

奨励賞

のうじくみあいほうじん

たかはた

農事組合法人 高幡

～自然と土地の恵みを生かす持続可能な農業～



早朝からアスパラガス収穫を支える集落女性



共同活動の取水堰の土砂撤去・左代表理事

経緯

- 平成14年、担い手や農地の保全等に課題が生じている中、集落内40代・50代の3人が会社退職後、就農。
- 既存の機械共同利用を主体とした任意組織で持続不可能と判断。
- 平成15年、主体的な農地利用による農業振興と地域づくりを目指す特定農業法人として、農事組合法人高幡を設立。

取組内容

- 水稲中心の土地利用型作物にアスパラガスを組み合わせた複合経営。水稲苗の育苗に浮楽育苗方式を採用。
- 社会参加不得手者の就労の場。
- 会社退職者が業務の中核として就労活躍。
- 中山間直接支払協定組織等の組合員として集落の共同作業を積極的に支援。
- 小学校のアスパラガスの収穫体験、学習受け入れとともに、給食の食材として提供。

活動の効果

- 設立時29戸、15haが、令和3年には37戸、25.8haと、集落内外で組合員や農地集積が進んでおり、ドローンによる作業受託やもち麦等の特産化を目指す。
- 健康に問題があったりコミュニケーションが苦手など社会参加困難者や退職後の人生の活躍の場として、多様な人材に積極的な就労機会を提供。
- アスパラガス栽培は、プロの栽培人として評価されており、JA関係者や農業者からの技術指導、視察の依頼を多く受け入れている。

応募団体からのアピール・メッセージ

人を育て、アスパラガスの収益率改善やもち麦の特産化推進、ドローンの作業受託の拡大など、農地を生かす持続可能な複合経営に今後も取り組みます。

三次市君田町石原167番地 Tel:0824-53-2621

4

しょうばら
広島県庄原市

地産地消

雇用

食育・教育



特別賞

かぶしきがいしゃしのうむらのうきち

株式会社敷信村農吉

かけがえのないもの。こと。



保育所では、田んぼ・園庭の畑で農作物を育てる



地元生乳100%の手作りチーズは国内外で高評価

経緯

- 平成18年当時、市内出生者の減少に伴い複数の保育所を統廃合し、運営を民間委託していく方針の下で、地域の有志が、自分達で地元の保育所を運営する会社を設立。
- 里山の自然を生かした保育所運営を中心に、地域の「農」「里山の暮らし」の活性化を目指す。

取組内容

- 地域特性を生かした、里山の自然・地域の人達との交流・農が身近な保育を実践。
- 農家所得の向上や地域内交流活性化のため、近隣都市百貨店や飲食店に、地元野菜の販売・卸を開始。
- 当地域は「日本酪農の礎を築いた地」であることを知った地元の若者が、地元生乳を原料としたチーズ製造開始。

活動の効果

- 保育所給食は、自社農園で自ら育てるコシヒカリや地元旬野菜が中心。
- 平成27年から、地域に根差した農で暮らせるビジネスモデルを作り、耕作放棄地を活用した自社農場をスタート。
- 平成25年度に新設したチーズ工房で製造するチーズは、国内外のチーズコンテストで相次いで受賞するなど、市場評価も好調で存在感のあるチーズ工房に成長。

応募団体からのアピール・メッセージ

庄原市を活性化するため、地域密着型の事業を展開。里山の恵みを生かした保育、地元の生乳を使ったナチュラルチーズをご賞味下さい。

広島県庄原市板橋町1358-1 Fax: 0824-72-1824

5

しょうばら
広島県庄原市

地産地消

食育・教育

女性の活躍

とみ ゆか
富 由香(よもぎカフェ)

～食を通してのコミュニケーションで活力を！～



フリースクールスイス村で生産した
農産物を利用した旬変わりの創作料理



フリースクールスイス村の農作業

経緯

- ふるさと庄原市で、当初予定していなかったよもぎカフェを開業。
- 前職で培ったマーケティングの発想と知識を活かし、
 - ・「地域活性化」
 - ・「女性支援」
 - ・「自立支援」
 という3つのやるべき事に取り組む。

取組内容

- よもぎカフェでは、自然と季節を感じる料理を心掛け、野菜、放牧豚、ニジマスを自給自足するなどオーガニック食材を提供。
- 婚活パーティーの開催や、口和自治振興区の振興計画策定プロジェクト委員として地域振興に取り組む。
- 同一敷地内の父親が経営するフリースクール(一般社団法人スイス村)との共同で、地域スポーツイベント、野菜作り教室や正直野菜の定期便等を実施。

活動の効果

- 高齢者が多い庄原市口和町地域で、若者との交流は非常に貴重で、生徒にとっても有意義な体験の場を提供。
- マーケティングに関しては、前職の経験を活かし、柔軟な発想と知識を活用して地域イベントやコラボで地域を活性化。
- 自然豊かな環境や地域のネットワークを活用して、地域全体が活性化できるビジネスフローの構築を目指している。

応募者からのアピール・メッセージ

地域のイベントやコラボでの地元の活性化をはかり、物販やイベント等、女性が働ける雇用環境や学生の農業研修など地域との架け橋になるよう取り組んでいきたい。

庄原市口和町宮内285 Tel: 090-4570-9996

6

おおたけ
広島県大竹市

伝統の継承

奨励賞

わしほぞんかい

おおたけ手すき和紙保存会

～地元産の楮にこだわった手すき和紙づくり～



流し漉(す)きの技法で1枚1枚 漉きあげる



楮の脇芽を摘んで真っ直ぐ大きく成長させる

経緯

- 江戸時代から続く防鹿地区の和紙生産が衰退し、ただ1人の製紙家が守ってきた。
- 同地区住民が保存会を発足させ、原料の楮栽培から紙すきまでの一連作業を行ってきたが、会員の高齢化で活動が困難。
- 伝統を絶やすまいと地域内外の有志による作業の手伝い等、新たな会員による活動を開始。

取組内容

- 400年以上続く手すき和紙の製造技術を継承するため、和紙作業所で年間2千枚程度を生産。
- 大竹市内の畑6カ所で楮を栽培し、刈取りから皮を剥ぐまでを多くのボランティアの協力により手作業で実施。
- おおたけ手すき和紙の里に体験学習棟を設置し、紙すき体験や各種の講座を開催し、幅広い世代に手すき和紙の魅力を発信。

活動の効果

- 国産楮の生産が激減する中、「地元の紙は地元の原料で」と楮やトロロアオイの栽培を続け、過酷な作業も多いがボランティアの協力で栽培量を拡大。
- 大竹市内及び近隣小・中・高校の出前授業(座学・紙すき体験)の実施、校内に楮の植付け等により子供達への地域教育の一翼を担う。
- 漆造形専攻学生が、数ヶ月の和紙づくり作業体験後、和紙と漆のコラボ作品として装飾タイルを創作するなど和紙の可能性を広げる。

応募団体からのアピール・メッセージ

地元産原料にこだわり、生産者としての責任を持って紙すきを継続し、受け継いできた技術・技法を次世代に残していく。

大竹市防鹿3365 Tel:0827-93-3576

7

ひがしひろしま
広島県東広島市

6次産業化

高齢者の
活躍

学生・若者の
活躍

奨励賞

な はな
菜の花くらぶ

～菜の花で特産品と地域の誇りを生み出す～



菜の花収穫の様子



商品の梱包作業

経緯

- 若い世代に届く地域特産品がないことや家庭菜園などのコミュニティが健康に寄与していることに気づく。
- 「緩やかに続くコミュニティづくり」と「お母さん方の手仕事と学生の新しい発想から生まれるものづくり」の両立を目指し、地域特産品作りをスタート。

取組内容

- 地域おこし協力隊・学生・地域住民が連携し、地域特産品「菜の花 Salad Salt」を製作・販売。
- 学生の声から、町内お米農家とのコラボ商品「菜の花おむすびセット」が実現。
- 町内2店舗に商品設置、地域内周知のための地域センターへの商品設置や、全国発信のためのインターネット販売も実施。

活動の効果

- 町民・学生・地域おこし協力隊が集まり商品を仕込むことで、世代間交流が生まれ、地域コミュニティの形成に貢献。
- 商品数増大のため、町内の一般家庭・農家との契約数を増やすことで、地域を活性化。
- 学生の声から実現したギフトセット「菜の花おむすびセット」で、米農家の既存顧客の「菜の花 Salad Salt」の認知も広がった。

応募団体からのアピール・メッセージ

「町民に愛されながら作り続けられること」「販路を拡大し商品周知を広げること」を念頭にコミュニティビジネスとしての定着を目指す。

東広島市豊栄町 Tel: 090-2436-0529

8

はつかいち
広島県廿日市市

農林漁業

雇用

教育機関
との連携

ばんこけいようぎょかんこうかぶしきがいしゃ

万古溪養魚観光株式会社

～海と川を行き来し、鱒！！～



左:内水面のみで養殖 右:海面養殖を経た魚



子供から大人まで楽しめる釣堀施設

経緯

- 溪流魚販売では、冬季の売上げが少なく、雇用維持が困難。
- 冬季に養殖可能な魚が限られ、同様の悩みを抱えていた広島県内の海面養殖業者や市場関係者と連携し、海と川で養殖可能なニジマスの生産を開始。

取組内容

- 川と海の養殖業者が卵から成魚まで一貫生産し、1年目の種苗から海面飼育した大型種苗により、早期出荷と大型化を実現。
- 出荷規格外のニジマス釣堀用として有効活用。釣り堀で釣った魚をその場で楽しめる賑わい食事処を併設。
- 市内の短期大学と連携し、「誰でも気軽に食べられるニジマスレシピ」を考案。

活動の効果

- 県内のホテル・飲食店等でフランス料理や日本食の食材として提供され、消費拡大に貢献。
- 地元保育園・小中学校での給食、市内ゆかりの球団、地域イベントへ食材提供を行い、食育、地産地消や地域活性化に貢献。
- 地域の雇用が増加。(30代以下の従業員が2014年0名から2021年4名に)

応募団体からのアピール・メッセージ

独自の養殖技術により、瀬戸内レモンがたっぷり練り込まれた餌と、無投薬で育ったニジマスは絶品！たくさんの人に「美味しい！！」をお届けします。

廿日市市虫所山74 Tel: 0829-72-0012

9

あきたかた
広島県安芸高田市

6次産業化

奨励賞

ひろしまけんりつよしだこうとうがっこう
広島県立吉田高等学校 アグリビジネス科

～ブドウを通してみんな笑顔に！～



ブドウの収穫の様子



道の駅でのブドウ販売の様子

経緯

- 農業者の高齢化や後継者不足等により、地域農業の衰退が危ぶまれる中、できることからスタート。
- 地域農業を盛り上げ、活性化していくために、アグリビジネス科の主力生産物であるブドウの生産ノウハウや販売実習等を積極的に展開。

取組内容

- 実験場で生産したブドウを、道の駅で地域の方々に販売。生徒は生産から流通・販売までの一貫した流れを学習。
- JA広島北部・安芸高田市役所主催「アグリセミナー『ブドウ現地研修会』」において、教師と生徒がブドウの生産やプロジェクト活動について説明。

活動の効果

- アグリセミナーでは、セミナー参加者と生徒が、高品質なブドウ生産に向けた有意義な技術交換や意見交換を行うことができた。
- ブドウの生産・流通に係る技術改善や普及研究などの学習活動の成果や、農業の魅力を積極的に発信し、地域農業の活性化や地域の発展に貢献。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域農業の活性化を目標に、地域農業の抱える課題解決に向けた活動を充実・発展させ、積極的に情報発信するとともに農業への理解や関心を高めていきたい。

安芸高田市吉田町吉田719-3 Tel: 0826-42-0031